

1 目的

平成6年度に当初の鎌倉市下水道基本計画にあたる「古都鎌倉の21世紀下水道マスタープラン」を策定し、下水道関係部局の連携を図りながら下水道整備を進めてきました。その結果、水洗化の促進や河川の水質改善という面で成果が現れています。

しかし、浸水被害の解消や老朽化した施設の改築・更新等、社会の発展や変化に伴い、下水道にはその役割の多様化と新たな展開が求められています。

よって、21世紀における鎌倉市の下水道の将来における方向性を明らかにし、今後とも実施していかなければならない整備計画を明確にするとともに、管理計画や財政計画をも合わせて体系化し、21世紀における鎌倉市の下水道が目指すべき方向性を示すことを目的とし、「鎌倉市下水道マスタープラン」を策定するものです。

また、このマスタープランを実践するために、今後必要となる下水道事業について、方針や施策などを、より具体化した長期計画・中期計画・短期計画を策定するものです。

なお、本マスタープランは都市の基盤整備の一つとして河川・水路を含めて策定しています。

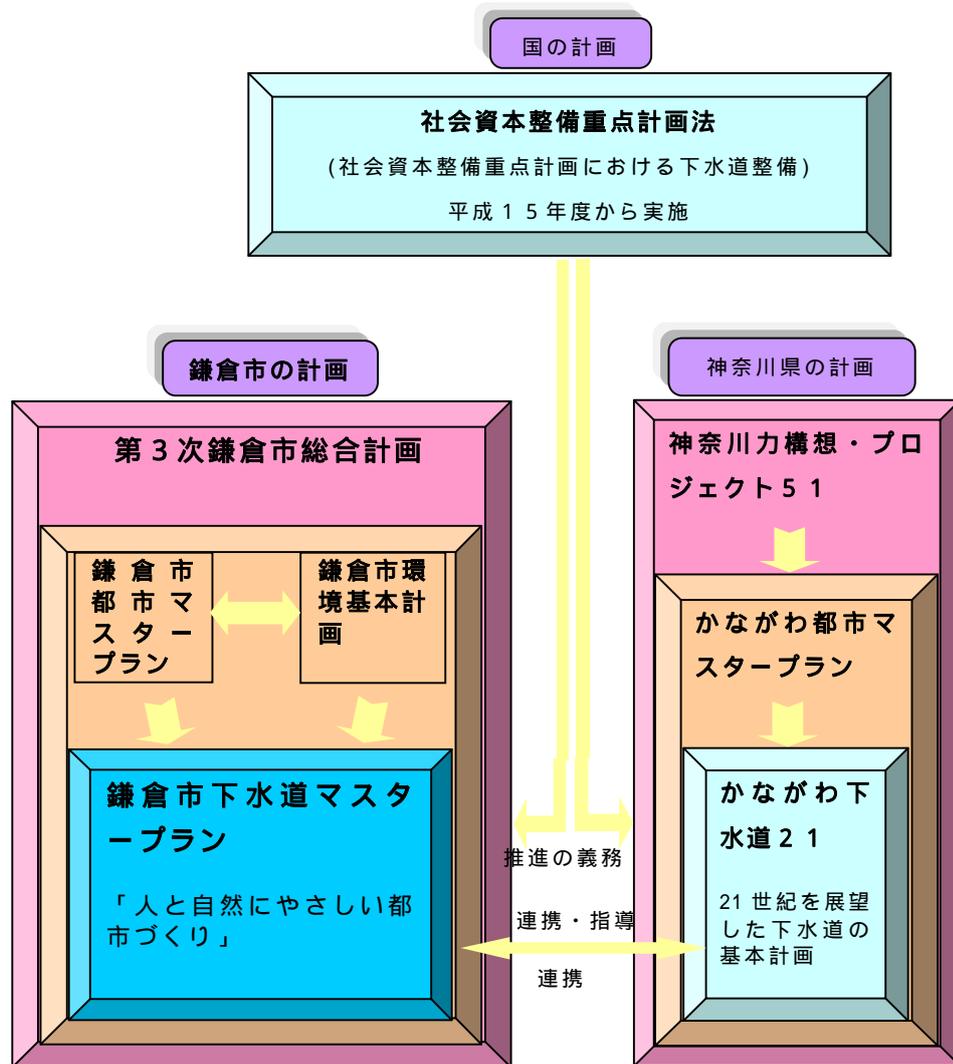


山崎水質浄化センター（汚泥焼却設備棟）

第1章「マスタープランの目的等」

2
位置づけ

このプランは、鎌倉市総合計画を上位計画とした、下水道整備に係る基本的な計画であり、関連する計画相互の関係は下図のとおりです。



都市計画決定(市決定)は知事の同意、都市計画法並びに下水道法事業認可は知事認可

3
構成

このプランは、基本的考え方の部分、現状把握と将来展望の部分及び施策展開の部分から主に成り立っています。その構成は、下図のとおりです。

